

7月には岩手県盛岡市との友好都市提携5周年を迎え、記念式典や記念イベントが同月に盛岡市、11月には本市で開催され、様々な交流を通して両市の友好の絆を深めました。



【友好都市提携5周年記念 芸能アトラクション】

## 2 平成30年度の予算規模

次に、予算の概要についてご説明いたします。

平成30年度の予算編成については、「第2次うるま市総合計画・前期基本計画」及び「第14回実施計画」等を踏まえ、各施策の目標達成に取り組みとともに、「第3次行政改革大綱」に基づき行政改革の実施に努め、限られた財源を効果的に活用するべく、枠配分方式を基本に予算編成を行っておりま

す。その結果、本年度の一般会計予算は、

544億7,339万9千円となり、前年度に比べ約3.6%の増となっております。

また、特別会計予算などを含めた総予算額は、865億2,461万円になります。

なお、本市の一括交付金配分額は、12億2,600万円となっており、引き続き、同交付金を活用した各種事業に取り組んでまいります。

(参考)

(1)特別会計予算の内訳	
国民健康保険特別会計	157億9,083万5千円
公共下水道事業特別会計	23億6,085万2千円
介護保険特別会計	94億4,858万3千円
後期高齢者医療特別会計	10億918万円
農業集落排水事業特別会計	2,684万7千円
(2)公営企業会計	
水道事業会計	34億1,491万4千円

## 3 主要事業の概要

次に、平成30年度主要事業の概要について、今後のまちづくりの指針となる「第2次うるま市総合計画」に掲げる6つの基本目標に沿って説明いたします。

### ①「みんなで支えあう健やかなまちづくり」

**地域福祉**については、「第3次うるま市地域福祉計画」に基づき、市民が様々な困難や悩みに対して必要な支

援が受けられ、互いに助け合えるような地域コミュニティの活性化を目指すため、関係団体と連携し「みんなで支えあう健やかなまちづくり」を推進します。

**生活保護**については、適正実施に努めるとともに、要保護者及び被保護者の自立に向けた支援を推進します。

また、「生活困窮者自立支援法」に基づく自立相談支援事業や住居確保給付金事業、学習支援事業などを引き続き実施し、生活保護に至る前の自立支援に加え、貧困の連鎖防止に努めます。

**障がい者福祉**については、「第3次うるま市障がい者福祉計画」、「第1期うるま市障がい児福祉計画」及び「第5期うるま市障害福祉計画」に基づき、共生社会の実現のため、総合的な相談支援体制や就労支援等の施策に取り組みます。また、重度心身障害者(旧)医療費助成事業の自動償還払いを導入し、利便性の向上を図ります。

**国民健康保険**については、今年4月に制度改正が行われるため、被保険者の皆さまへ支援がでないよう周知を図るとともに、沖縄県や沖縄県国民健康保険団体連合会等と連携を密にし、万全の体制で取り組みます。

また、国保税の収納対策や医療費の適正化に取り組み、財政の健全化に努めるとともに、特定健診の受診率向上と特定保健指導等による健康づくりを推進します。

**後期高齢者医療**については、被保険者の健康の保持増進を図るため、長寿健診の受診勧奨に努めるとともに、引き続き人間ドック・脳ドック健診費用の一部助成を実施します。

**高齢者福祉及び介護保険事業**については、「うるま市高齢者福祉計画」第7期介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステム、認知症対策等の強化に取り組みるとともに、高齢者自身が健康の維持・増進や介護予防に取り組めるよう、健康づくり・生きがいづくりの充実を図ります。

### ②「子どもがいいきいきと育つまちづくり」

**母子保健**については、本年度新たに妊娠前から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供する体制を構築することを目的とした「子育て世代包括支援センター」の設置に取り組みます。

また、健やかな子どもの成長発達のため、規則正しい生活リズムの形成を推進するとともに、麻しん・風しん予防接種助成事業を継続します。

**子育て支援**については、共働き家庭等の児童に対し、放課後に適切な遊びと生活の場を提供する放課後学童クラブの小学校内での事業の実施及び公共施設等の余裕スペースを活用した事業の実施に取り組みます。